

引き戸クローザー取付手順書

お買い上げありがとうございました。

取付手順書を保管して頂ければ、ご使用中に分からないことや異常が生じた際にも、きっとお役に立ちます。

取り付け前の確認

部品が揃っているか、ご確認ください。



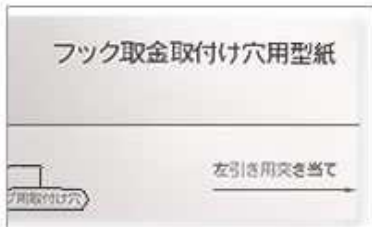
クローザー本体



ふた



フック



型紙



ステッカー



キーパー
A

キーパー
B



「ネジ①」4本
クローザー本体用
タッピング4mm×12mm



「ネジ②」6本
ふた・フックの取付金具・キーパーB用
タッピング4mm×20mm



「ネジ③」2本
マグネットキャッチ用
タッピング3.1mm×13mm



「ネジ④」2本
アルミサッシ加工用
下穴加工ネジ

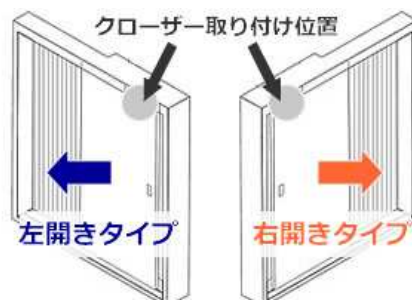


「ネジ⑤」1本
キーパーA用
皿タッピング2.7mm×13mm

引き戸の開き方向を確認

クローザーを取り付ける側から見て右に開ける引き戸は「右開きタイプ」と呼びます。

本手順書は、「左引きタイプ」の取り付けを説明します。「右開きタイプ」は対照に取り付けます。

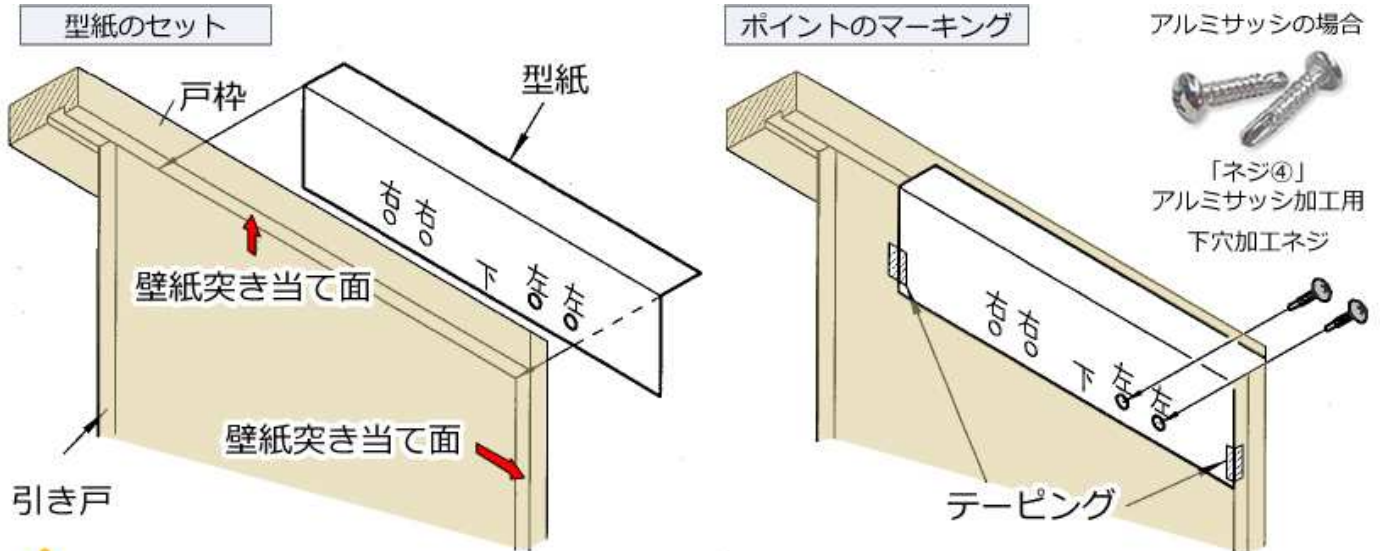


【取り付け位置】

フック金具を取り付ける位置を決める為に同梱している「フック取金取付け穴型紙」をご使用ください。

引き戸を完全に閉めて、型紙を図の通りの指定位置にテーピング止めをします。

[注意] ガラス入りサッシの場合、上枠のガラスまでの位置が 35mm 以下は取り付けできません。



! 右開きの引き戸には壁紙を左側に当て、「右開きタイプ用取付け穴」に印をします。



場所が決まればテープ止めし、千枚通し等の先の鋭い物で「左開きタイプ用取付け穴」（右開き戸の場合は「右」）2か所に印をします。

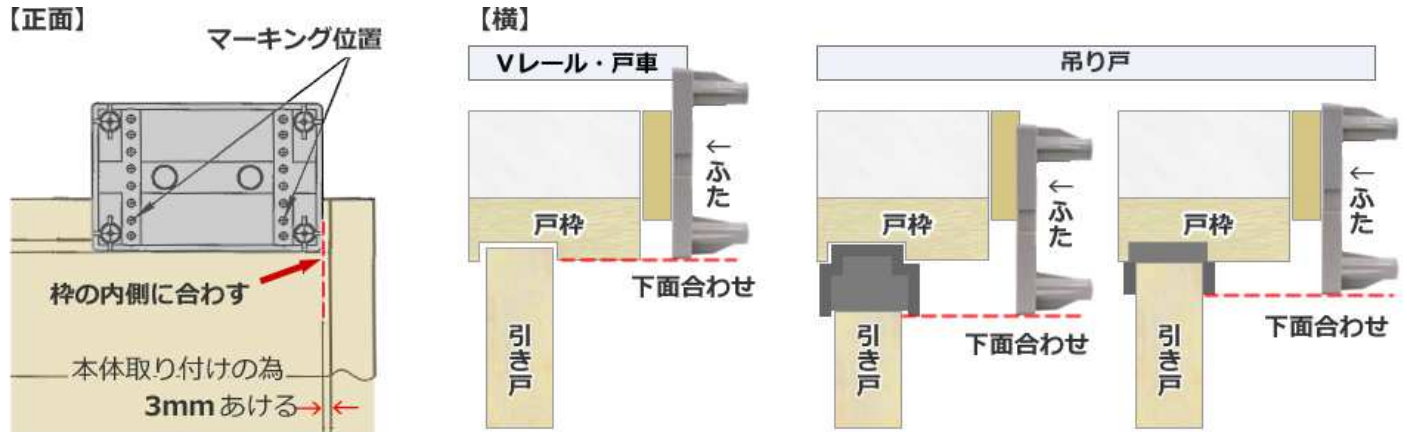
※アルミサッシの場合は、更に上の図のように下穴加工ネジ（ネジ④）で穴あけをします。

[ポイント] φ（直径）3mm 以下のドリル加工（深さ 15mm 以下）を行うと取り付けやすくなります。）

【ふたを取り付ける】

引き戸のタイプによって、「ふた」の取り付け位置が少し異なります。

Vレール・戸車タイプは戸枠に合わせ、吊り戸タイプにはレールに合わせて取り付け位置を決めてください。(型紙の設置位置とフタの下面は同じ位置になります。)



マーキングをしてから取り付けてください。

「ふた」の穴は全て閉じていますが必要な部分の穴を開けてください。



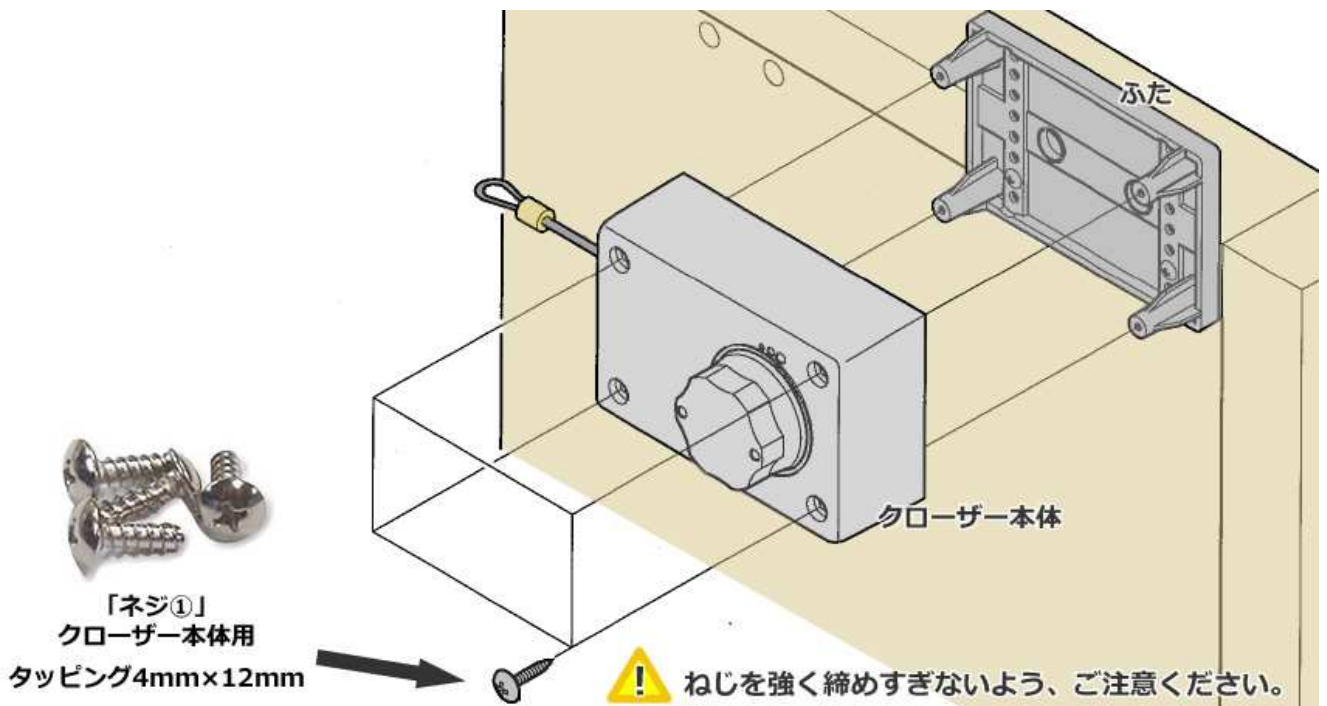
ネジ2本で取り付けてください。

「ネジ②」
ふた・フックの取付金具・キーパーB用
タッピング4mm×20mm

【クローザー本体を取り付ける】

枠に取り付けた「ふた」にクローザー本体を取り付けます。

【注意】強く締めすぎないようにご注意ください。

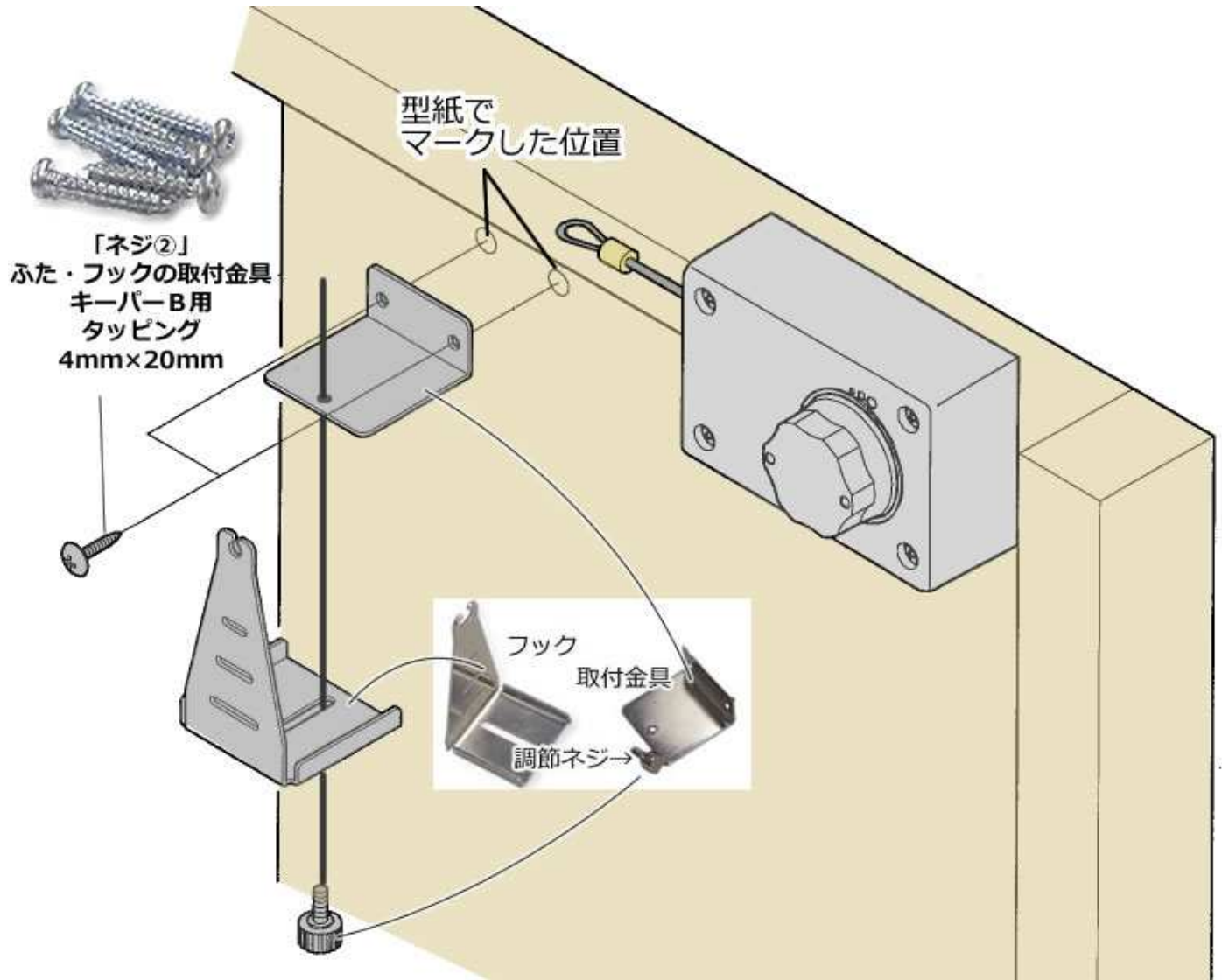


【フックを取り付ける】

【取り付け位置】にて型紙を使い、引き戸にマーキングした位置に「フック取付金具」を取り付けます。

取り付けした「フック取付金具」に「フック」を「調節ネジ」で仮付けします。

(ねじの本締めは後ほど行います。)



【マグネットキャッチ、キーパーの取り付け】

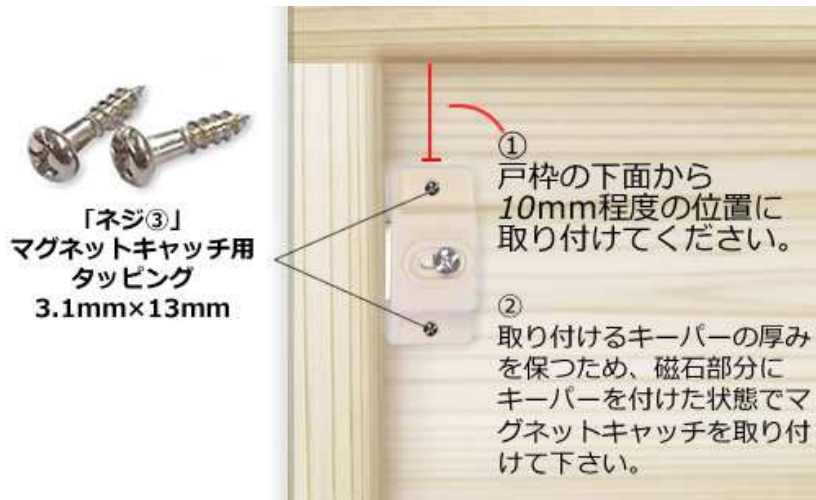
マグネットキャッチを引き戸に、キーパーを戸枠に取り付ける事により、磁石の力で引き戸を全開状態でキープする事が出来ます。

木製の場合は「キーパーA」を、アルミサッシの場合「キーパーB」を使用。

[注意] 木製には「キーパーA」、アルミサッシには「キーパーB」が合う事がほとんどですが、形状に合わせてキーパーの種類をお選びください。

「マグネットキャッチ」は枠の下面から 10mm 程度の位置に取り付けます。(下の図①)

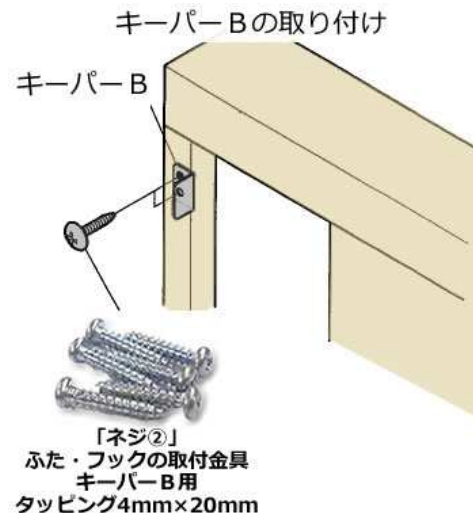
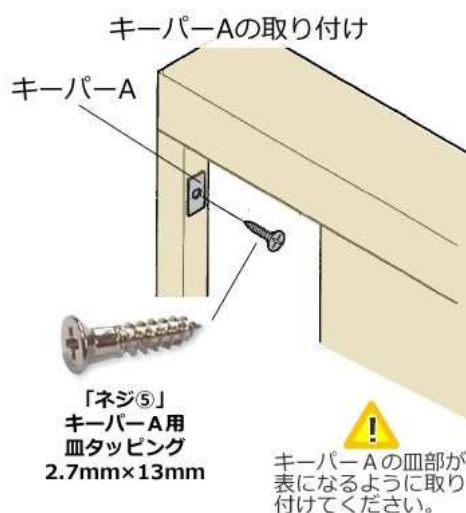
引き戸は全開状態で、「キーパー」をマグネットキャッチに付けた状態で取り付けます。(下の図②)



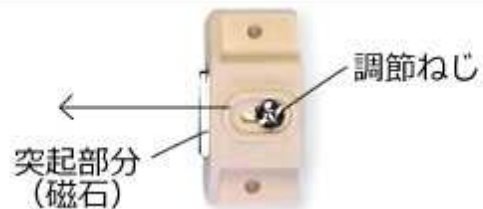
「キーパー」を縦枠に取り付けます。

[注意] キーパーAを取り付けの場合、皿部が表になるように取り付けてください。

[ポイント] キーパーA取り付け位置に印を、キーパーBは下穴を開けると取り付け易くなります。

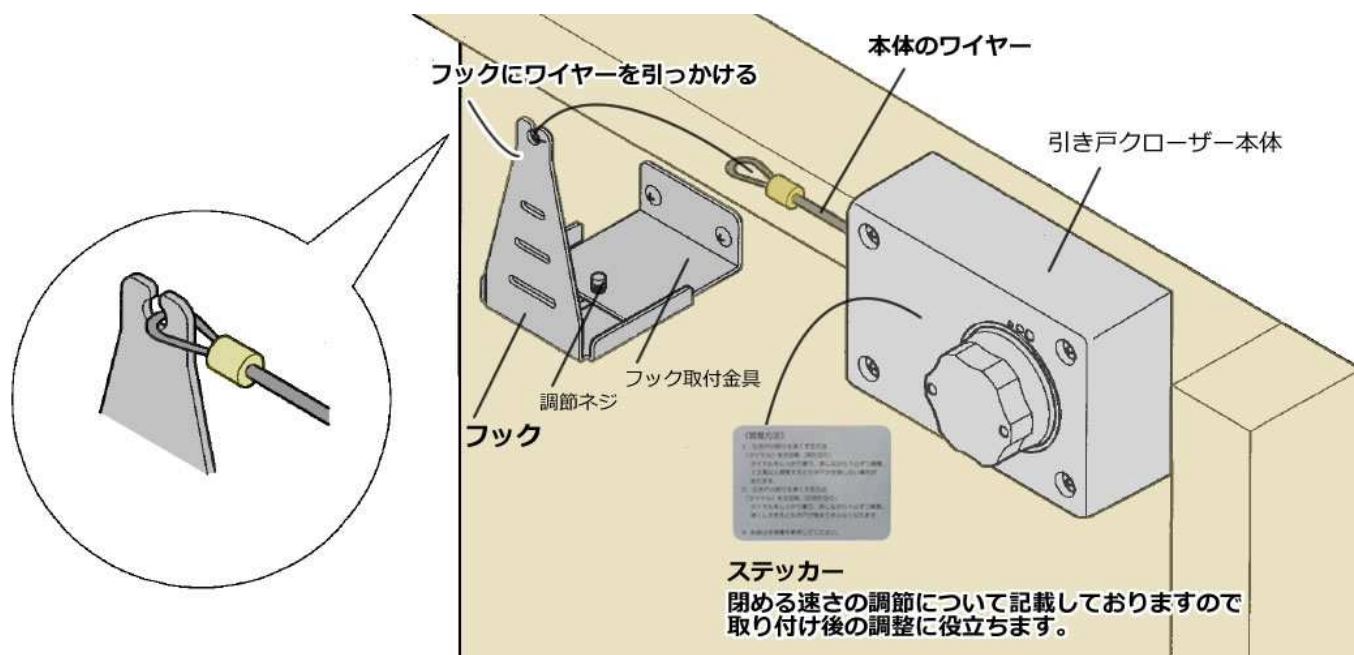


マグネットの吸着が悪い場合、突起部の位置調節を行います。



【最後に】

クローザー本体のワイヤーの先をフックの溝部にセットします。
フックをスライド調節し、ワイヤーが平行に引き出される位置で「調節ネジ」を本締めします。
ステッカーも本体に貼りつけます。（取り付け後の調節に便利です。）



【引き戸の引き力の調整の方法】

設置後も、簡単に調節できます。



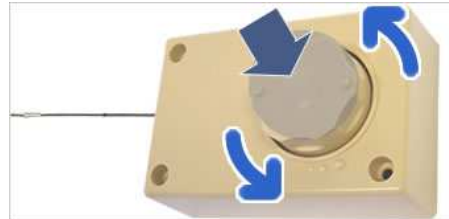
■正常に閉める為の設定

10cm 程開けた引き戸が、完全に閉まるまでダイヤルを右方向に回し調節します。



■引き力を強くする

右方向（赤の矢印）に回します。
※閉じる速度の上げすぎに注意してください。



■引き力を弱くする

引き力が強い状態の場合は特にしっかりとダイヤルを掴み、ダイヤルを軽く慎重に押しこみながら、左方向（青矢印）に回します。
戻しすぎないように注意してください。

UC-0010 5色ラインナップ



【トラブルQ & A】

Q途中で引き戸が止まってしまう。

A戸車・レールの状況を確認してください。異物やごみが妨げになったり、脱輪していませんか？設定した引き力が弱すぎた場合もあります。引き力調節を再度行ってください。又、フックの位置がずれていて、ワイヤーとクローザーの平行が著しくずれている場合は、フックの位置調整をしてください。

Q引き戸が全開しなくなりました。

A引き力設定が高すぎます。ダイヤルを左に回して引き力を弱めてください。戸が全開になる位置まで調節し、戸が完全に閉まる事を確認してください。

Q引き戸が閉じる時のショック音が大きい。

A戸を閉めることが可能な引き力まで若干調節するか、市販品のドアクッション材を利用してください。

Q引き戸がひかれる時に異音がある。

A引き戸の枠が擦れていませんか？引き戸の枠ガイドを調節してください。引き戸とレールの間に異物はありませんか？除去してください。

Qマグネットキャッチで引き戸が固定できない。

A引き戸、もしくは枠が歪んでいる可能性があります。マグネットキャッチを調節してください。

※ご使用上の注意事項

- クローザー本体、フックに荷重を掛けないでください。破損の原因になります。
- ワイヤーに手を掛けないでください。部品破損、ケガの危険があります。
- 引き戸を取り外す際は必ずワイヤーをはずし、フックの破損に注意してください。
- ネジは確実に締めてください。製品の脱落、破損の原因になります。
- 引き戸の戻し速度はできるだけゆっくりに設定してください。低速度が安全です。
- Vレール・戸車タイプの引き戸の場合、溝の清掃を定期的に行ってください。戻りが遅くなった対応として引き力を強くすることは、長くご使用いただく上でお勧めできません。

※本製品ご利用のお勧め

- 外気や埃、猫や犬まで家の中に入ってきて困るといご家庭にお勧めです。
- バリアフリーにしたけれど、引き戸の開け閉めが手間！といご家庭にお勧めです。
- 玄関、トイレ、脱衣所、バルコニー、あるいは工場の出入り口まで、あらゆる引き戸に対応しています。
- 引き戸枠に飾りのケーシングがあって今まで装着のできなかった引き戸にも取付けられます。

※取付手順書を保管して頂ければ、ご使用中にわからないことや異常が生じた際にも、きっとお役に立ちます。

ご不明点がございましたら、ご連絡お願い致します。

エムエムアイ株式会社 Tel 06-4805-7702

弊社ショッピングサイト【代引き・銀行振込（前払い）・クレジット対応】
取り付け例・仕様・取り付けについて、外形図・注意事項なども掲載しております。
お得にお買い物していただけるキャンペーン等も行っています！



エムエムアイ株式会社

大阪市淀川区西中島 6 丁目 1-15

アセンズ新大阪 9F

TEL (06) 4805-7702 FAX (06) 4805-7703

<https://www.mmi-g.co.jp/uc/>